

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立中央特別支援学校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	157名

1. 使用状況

寄贈物品名	シェードライト（遮光テント）
使用学年及び人数	全学部（小・中・高等部） 157人
使用頻度	各学部 年数回ずつ
使用状況	<p>屋外での、外気浴などの健康維持の活動や、水遊びなどでの体育的活動、野菜や植物の植え付けや生育状況の観察などの学習活動において、日除けとして使用している。また、屋内においてトンネルとして使用したり、電飾などを併用してスヌーズレン的なリラクゼーションの活動に対して使用している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>テント自体が大きく室内に十分なゆとりがあるために、活動に対して待機している児童生徒や、友達の活動を見守る児童生徒に対して十分な日陰を与えることができている。また、出入口も大きく取れるので、車いすやバギーでの出入りも余裕をもって行うことができる。リラクゼーションの活動においては、床にマットを敷くことができ、車いすなどから降りて身体を休めながら電飾の光を見て、授業のねらいである脱力の時間を取ることができる。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>当初は、大きく日除けとしての利用を考えていたが、遮光の特性を生かして暗室としての使用もしていくことができた。実際に、実物が届き、組み立ててみると十分な大きさが確保され、日除けや風除けも含め、児童生徒の行動を制限することなく活動に取り組んでいる。</p> <p>今後は、せっかく複数個いただくことができたため、連結してより大きな空間としての活用などといった使用方法を考えていくようにしたい。</p>
その他希望や所感など	<p>大きく、十分なスペースが取れ、かつ側面に壁が作れ、それが遮光できていることに、健康上の理由からも利用価値が高い。敢えていうのであれば、大きすぎるために設置に人手が必要になってしまことがあるか。</p>

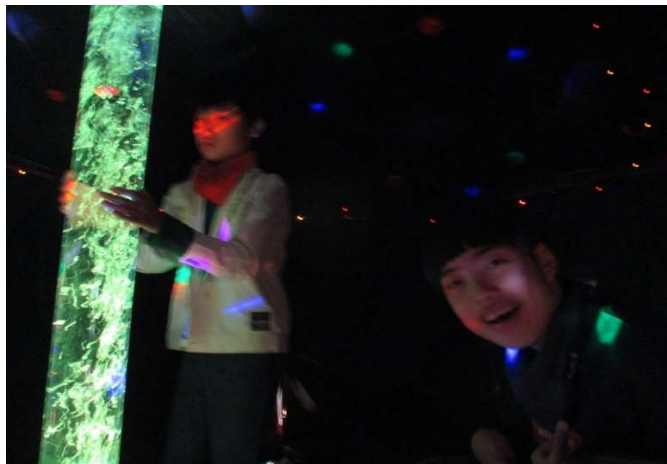
2. 活用の様子



(写真1) 入口が広いので、車いすでも楽々入れます。テントの中はどうなっているのかな？



(写真2) 暗いテントの中は、優しい光でいっぱい。周りを見回し、目が光を追っていきます。



(写真3) 友達とも一緒に楽しむことができます。笑顔を浮かべ合い、楽しさを共有します。